

東日本大震災がもたらしたいくつかの課題

福島第一原発と浜岡原発に関わる問題

津波災害の大きさは想定外か？

地震動強さはそれほどでもなかった？

1978年宮城県沖地震からの宿題

垣間見えた東京首都圏の脆弱性

福島第一原発と浜岡原発に関わる問題

情報公開と説明責任は果たされているのか

非常電源装置の津波災害が原因のすべてなのか

対応の遅れ（レベル4からレベル7へ、避難区域から警戒区域へ）

風評被害を含めた被災者への損害賠償の問題

原発事故の検証はまだ（事故調査委員会へ期待）

浜岡原発の緊急停止（首都圏がどうなるかのシミュレーションを）

原発事故に“想定外”は許されるのか

津波災害の大きさは想定外か？

原発設計用に定められた耐震規準の想定津波高さを大きく超えていたという意味では“想定外”

原子力むら内の合意形成と社会的合意形成の違い

明治の三陸地震津波(1896, MT8.5)から学ぶことは何故できなかったのか

[震害なし, 津波による被害甚大, 死27122, 家屋流失全半壊8891, 船の被害7032, 津波高さは吉浜で24.4m, 綾里で21.9m, 田老で14.6mなど]

1年前のチリ地震津波でも大津波警報が発令されたが避難行動の実践者はごく僅かしかいなかった

津波防止用の防潮堤(普代の成功, 田老の失敗)



気仙沼

2011.05.04.



南三陸

2011.05.04.



石巻

2011.05.04.





東松島(野蒜)

2011.05.04.





名取(仙台空港) 2011.05.04.